

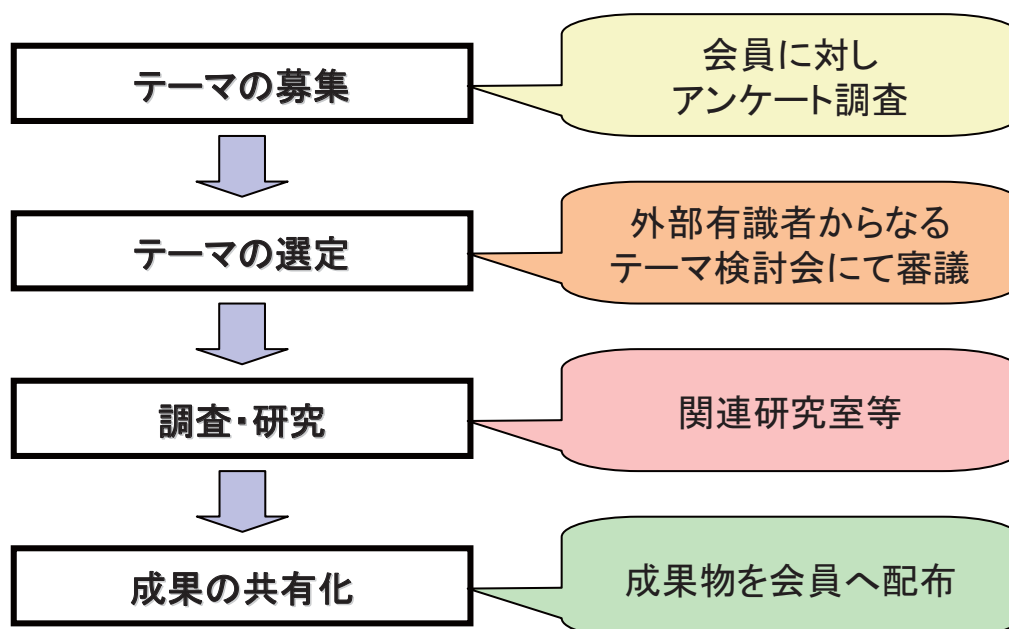
調査研究活動

【概要】

会員の皆様のニーズに基づいて、安全対策、コスト低減、環境・省エネ対策、新技術導入等、会員に共通する技術的課題をテーマとした調査研究を行っています。

研究により得られた成果物は、関係する会員の皆様へ配布しております。

【調査研究の流れ】



【調査研究の一例】

「レール継目部の改善に関する調査研究」
における試験施工



【成果物の一例】

「鉄道総研式ヒューマンファクタ
事故分析法の研究」

【過去の調査研究テーマ】（平成18年度までに終了したもの）

1. 鉄道等における技術動向調査
2. 電気設備の耐震性の検討
3. 落石対策の技術マニュアルの作成
4. 車両検査周期の延伸試験項目の調査
5. 閑散線区に適した保守方法の検討
6. ワンマン運転に関する実態調査
7. 車両の検査周期延伸試験結果の分析、評価
8. ワンマン運転の拡大に関する調査研究
9. 在来線騒音に関する調査研究
10. トンネル健全度調査方法と保守方法に関する調査研究
11. コンクリート構造物の非破壊検査技術の適用性に関する調査研究
12. 車両用電子機器の故障防止に関する調査研究
13. 鉄道構造物の維持管理計画法に関する調査研究
14. 鉄道の利便性を向上する情報の提供と活用に関する調査研究
15. 中小鉄軌道における不具合対策に関する調査
16. 環境管理に関する調査研究
17. 鉄道沿線の振動対策に関する調査研究
18. レール継目部の改善に関する調査研究
19. 地下鉄駅におけるHf照明器具の電波障害調査
20. 鉄道総研式ヒューマンファクタ事故分析法の研究

【調査研究成果の一例】

○ 行政への提案

上記「4. 車両検査周期の延伸試験項目の調査」、「7. 車両の検査周期延伸試験結果の分析、評価」での成果を受けて、国土交通省に電車、内燃動車、新幹線電車の検査周期延伸を提案し、関係規則の改正に反映されました。

○ 技術基準原案への反映

上記「5. 閑散線区に適した保守方法の検討」、「10. トンネル健全度調査方法と保守方法に関する調査研究」は、土木構造物と軌道の「鉄道構造物等維持管理標準」の作成に反映されました。